

すばらしい土木技術をもういちど

第81回 EVENING THEATER

～ 鉄道線路の切替え ～

解説 京王電鉄(株) 工務部保線課長 石坂真二氏



東 急 電 鉄 東 横 線



東 京 メ ト ロ 有 楽 町 線



京 王 電 鉄 京 王 線



小 田 急 電 鉄 小 田 原 線

2014年10月8日(水) 18:00 開場 18:30 開演 参加無料
土木学会 講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラム(2単位)です。

会員証でCPDポイントの自動登録が可能ですのでご参加の際にご持参ください。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当

上映作品

土木技術映像委員会推薦映像

東急電鉄東横線（渋谷駅～代官山駅間）地下化工事



企画・制作 東京急行電鉄(株) 2013年 22分

本事業は、東横線と東京地下鉄13号線（副都心線）との相互直通運転を行うため、東横線渋谷駅～代官山駅までの約1.5km区間を地下化し、2013年3月16日に相互直通運転を開始したものです。これにより、東武東上線・西武池袋線から東京メトロ有楽町線・副都心線を経て、東急東横線から横浜高速鉄道みなとみらい線までの5社の路線を結ぶ首都圏の広域的な鉄道ネットワークが形成され、都市交通の更なる利便性向上や円滑化が図られるとともに、東京の都市再生にも寄与することになりました。本映像は東急東横線の地下化工事と2013年3月15日から16日初電までに実施された切替工事の施工記録です。

東京メトロ有楽町線（小竹向原～千川駅間）連絡線設置工事～池袋方面供用開始～



企画・制作 東京地下鉄(株) 2012年 15分

東京メトロ有楽町線・副都心線は、東武東上線和光市駅、西武有楽町線練馬駅の各方面と有楽町線新木場駅、副都心線渋谷駅の各方面を結ぶ4つの運行経路があり、小竹向原駅・千川駅間で合流分岐する構造となっています。2008年6月の副都心線開業を契機として、小竹向原駅・千川駅間の平面交差部がネックとなり、ダイヤ乱れや遅延等の問題が顕在化したため定時運行確保と安全性向上を目的とした輸送改善策として平面交差を解消する新たな連絡線の設置を計画しました。連絡線は、和光市方面と新木場方面を結ぶパイパス線を開削トンネルとシールドトンネルで設置するもので、2010年に着手し、新木場方面については2012～2013年に切替工事を実施し、2013年3月の東急東横線直通運転とともに供用を開始しました。

調布駅付近連続立体交差化事業「京王線・相模原線地下化へ」



企画 東京都・調布市・京王電鉄(株)
制作 京王電鉄(株) 2013年 15分

2012年8月19日、京王線柴崎～西調布間と相模原線調布京王多摩川間の区間の地下化切替工事が完了しました。本工事では京王線、相模原線の6線3口を在来線直下に新たに建設した地下線に一晚で切替える、史上稀に見る大規模な切替工事を実施しました。切替工事は、それぞれの切替口の特性を考慮した独特な切替方式を採用し、関係者約5000名を動員するとともに朝の列車を計画的に運休して代行バスを準備する大規模な工事となりました。調布駅付近の連続立体交差事業は京王線柴崎～西調布間と相模原線調布京王多摩川間の区間を地下化し、18箇所の踏切を除去と8箇所の都市計画道路を立体化するとともに、調布駅で分岐する京王線と相模原線の平面交差を解消するものであり、道路と鉄道の安全性の向上と地域の一体化、鉄道の安定輸送向上が図られます。

小田原線（代々木上原駅～梅が丘駅間）連続立体交差化及び複々線化事業「在来線地下化までの歩み」



企画 東京都・世田谷区・渋谷区・小田急電鉄(株)
制作 (株)ドゥ・アーバン 2013年 11分

2013年3月23日、小田急電鉄小田原線の代々木上原～梅ヶ丘駅間が地上線から地下線に切り替わりました。これにより9箇所の開かずの踏切が除去されるとともに東北沢・下北沢・世田谷代田の各駅も地下ホームとなり、安全性の向上と地域分断の解消、駅バリアフリーの充実が図られました。この切替工事では、3月22日の最終電車後に約1000人の人たちの手により始発電車までの短時間で行なわれ、地上の在来線路の切断、人力による線路移設から始まり、並行して電気を供給する架線の張替や信号設備の切り替え、改札口などの駅施設の切替え整備を行い、4時54分下北沢駅上り始発電車から無事開通を迎えることができました。